

令和 2 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（総評）

【生 活】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備考
2 東京書籍	<p>(1) 生活科の目標を達成させるために、上巻では自分と身近な「ひと」や「自然」との活動、下巻では自分と身近な「もの」や「地域」につながる活動で構成している。また、「がっこうせいかつすたあと」という項目を設け、学習の見通しやイメージをもち、小学校生活への円滑な接続ができる工夫がされている。</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、気付きを促す吹き出しやイラストが多く、導入では興味を惹き付ける写真に加え、巻末にある「かつどうべんりてちょう」の関連ページを示し、主体的な活動が展開できるような工夫が見られる。</p> <p>また、生きて働く「知識・技能」を習得させるために、活動で留意することが示された「やくそくコーナー」があり、習慣や技能を確かにする「できるようになったことをふりかえろう」があるなど、気付きの質が高められるような工夫が見られる。</p> <p>さらに、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」等を育成するために、気付いたことを表現し、交流する例、動作化や手紙等の多様な表現方法の例示など、学びを深め、新たな活動につなげられるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 興味・関心を高めるという視点から、上巻巻末に、実物大の動植物を掲載した「ポケットずかん」が設けてあり、児童にとって分かりやすく、複数の植物の成長を比較できるように「パノラマページ」があるなどの学びを深める工夫が見られる。</p> <p>(4) 自分や身近な人々等の特徴やよさに気付かせるために、体験活動と表現活動を交互に繰り返す学習活動が例示され、気付きを自覚したり、捉え直したりして、気付きの質を高める工夫が見られる。</p> <p>また、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるために、「やくそく」欄で安全等に関わることが示され多くのページに「てをあらおう うがいをしよう」が表記されるなどの工夫が見られる。</p> <p>(5) 身近な人々や社会に直接働きかける活動と表現する活動を関連させ思考と表現を一体化させるために、子どもたち同士で伝え合う活動が数多く設定されている。また、活動したことを表現し、自分たちの思いや願いを町の人に発信する仕方を例示するなど、地域の一員として学びを生かしていくための工夫が見られる。</p>	<p>上p52, 53</p> <p>上p71 上p23, 29, 33</p> <p>下p89</p>
4 大日本図書	<p>(1) 生活科の目標を達成させるために、上巻では自分と関連のある身近な「ひと」や「自然」と関わる活動、下巻では自分と地域の人と関わる活動で構成している。また「しょうがっこうせいかつはじまるよ」を配置して、入学してからの学習や生活の素地を身に付ける工夫がされている。</p>	もくじ

	<p>(2) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、導入では見開き 2 ページの写真で児童の興味・関心を刺激し、体験活動のページでは、イラストや吹き出しで、活動の幅を広げたり、気付きの質を高めたりできるような工夫が見られる。</p> <p>また、生きて働く「知識・技能」を習得させるために、日常生活に必要な内容等が「右端コラム」にあり、巻末には昔の遊び等がまとめられた「がくしゅうどうぐばこ」があるなど、活動の幅を広げ、気付きの質が高められるような工夫が見られる。</p> <p>さらに、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」等を育成するために、行やマス目を選択できるようなワークシートの例や、表現を豊かにする言葉をまとめたコーナーがあるなど、児童の実態に応じた表現力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 興味・関心を高めるという視点から、体験活動につながる必要な道具を児童自らが作成できるページがあり、児童にとって分かりやすく、風船マークの中に活動内容などを短い言葉で示すなど、気付きにつながる工夫が見られる。</p> <p>(4) 自分や身近な人々等の特徴やよさに気付かせるために、気付きの共有化や表現する場面での言葉を「せいかつことば」として示し、多様な表現を促すことで気付きの質を高める工夫が見られる。</p> <p>また、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるために、活動において必要な道具を適切に使うための方法がイラストで示され、活動に即して必要な習慣や技能を身に付ける工夫が見られる。</p> <p>(5) 身近な人々や社会に直接働きかける活動と表現する活動を関連させ思考と表現を一体化させるために、家庭で学校のことを報告したり、地域の人々との関わりを報告したりする活動を位置付けている。また、ホームページ等で活動から得た思いや願いを発信するための方法が例示され、自分の生活に学びを生かすための工夫が見られる。</p>	<p>上p22, 23</p> <p>上p8</p> <p>上p9</p> <p>上p126～129</p> <p>上p3, 5 下p5, 65, 71</p>
11 学校図書	<p>(1) 生活科の目標を達成させるために、上巻では自然とふれ合う活動、下巻ではいろいろな人やものと直接関わる活動で構成されている。また、「がっこうだいすき」が配置され、参考になる例はイラストと少ない文字数の文で表現し、発達の段階に合わせた書き方の工夫がされている。</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、導入のページには、意欲を喚起するワイドな写真の中に気付きを促すアップの写真が掲載され、対話を大切にしたイラストや吹き出しがあり、児童自ら問いを見出せるような工夫が見られる。</p> <p>また、生きて働く「知識・技能」を習得させるために、種の撒き方や秋の遊び等を示した「ものしりのう</p>	<p>もくじ</p> <p>上p58, 59</p>

	<p>と」があり、巻末には学び方に気付くことができる「まなびかたずかん」があるなど、学習活動の質を高められるような工夫が見られる。</p> <p>さらに、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」等を育成するために、見付ける、比べるなどの活動を意識した例示が多く見られ、ワークシートにはマークや教師のコメントがあるなど、気持ちを表現しやすくするような工夫が見られる。</p> <p>(3) 興味・関心を高めるという視点から、各単元冒頭で児童自身の経験を思い出させるキャラクターの対話場面があり、児童にとって分かりやすいという視点から、すべての学習を4つの段階で示すなど、見通しをもって取り組める工夫が見られる。</p> <p>(4) 自分や身近な人々等の特徴やよさに気付かせるために、写真の人物が自己紹介したり、見学した児童がつぶやいた言葉を示したりするなどの気付きの視点を与える工夫が見られる。</p> <p>また、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるために、本文中に「ものしりのうと」があり、具体的な活動の中で実際に使いながら習慣や技能を身に付ける工夫が見られる。</p> <p>(5) 身近な人々や社会に直接働きかける活動と表現する活動を関連させ思考と表現を一体化させるために、子ども同士の多様な対話の様子が紹介されている。また、「まちたんけん」では、ポスターセッションなどで校内の先生や来校者との対話を楽しみながら表現する活動を例示し、思考や体験をもとに表現するための工夫が見られる。</p>	<p>上p44</p> <p>上p12, 13</p> <p>上p11, 21</p> <p>下p20～21, 53 p88～93</p> <p>下p22, 23</p>
17 教育出版	<p>(1) 生活科の目標を達成させるために、上巻では自分と学校・家庭の活動、下巻では自分とまわりの人、地域との活動で構成されている。また「きょうから1ねんせい」の単元が設定され、幼児期に育んだ資質・能力を、小学校生活で発揮する様子を写真とイラストで示し、活動意欲につながる工夫がされている。</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、教師による意欲を喚起する吹き出しや、写真・イラストと関連させたキャラクターによる投げかけがあり、児童の気付きや自ら問いを生み出すような工夫が見られる。</p> <p>また、生きて働く「知識・技能」を習得させるために、奇数ページの右側には身に付けさせたい約束や衛生面等のコーナーがあり、巻末には挨拶や道具の使い方等を示した「学びのポケット」があるなど、気付きの質を高められるような工夫が見られる。</p> <p>さらに、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」等を育成するために、ふり返りを書き込むことができる「なにをかんじたかな」や、思考を整理する様々なチャート等の例示があるなど、学習活動</p>	<p>上p18～27 下p24～41</p> <p>上p10, 11</p> <p>上90, 91</p> <p>上p127～135 下p117～136</p> <p>上p90, 91</p>

	<p>の質を高められるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 興味・関心を高めるという視点から、学んだことを豊かな発想につなぐ「もしも」のページを設けてあり児童にとって分かりやすいという視点から、「まんぞくハシゴ」を設けるなど、児童の達成感や満足度が視覚的に分かる工夫が見られる。</p> <p>(4) 自分や身近な人々等の特徴やよさに気付かせるために、人々と触れ合う場面において、先生役の人物が気付きを促すような疑問を投げかけるなどの工夫が見られる。</p> <p>また、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるために、巻末資料に「学びのポケット」があり、他教科とのつながりを考えながら整理していく工夫が見られる。</p> <p>(5) 身近な人々や社会に直接働きかける活動と表現する活動を関連させ思考と表現を一体化させるために、気になっていることを書き込む欄を設け、興味・関心を見学や表現活動に生かすことができる工夫が見られる。また、「ひとと」の欄と表現の例を並べて掲載することで、思考しながら表現したくなる工夫が見られる。</p>	<p>上p45</p> <p>下p24</p> <p>下p25</p> <p>上p21 上p33</p>
38 光村図書出版	<p>(1) 生活科の目標を達成させるために、上巻では季節遊びなどの自然体験活動、下巻では地域や身近なものを使った活動で構成されている。また「あたらしいいちねんせい」の単元を設定し、入学当初の活動を写真とイラストで掲載し、これまでの生活と小学校生活とを円滑につなぐ工夫がされている。</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、導入では児童が学習の見通しがもてるように「見通しコーナー」があり、季節の単元では四季の変化を比較できるように同じ場所のイラストを使うなど、児童の気付きを促すような工夫が見られる。</p> <p>また、生きて働く「知識・技能」を習得させるために、活動のヒントや気付かせたいポイント等を示した「どうすればコーナー」があり、巻末には1日の生活等を示した「ひろがるせいかつじてん」があるなど、学び方が身に付くような工夫が見られる。</p> <p>さらに、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」等を育成するために、観察カードやポスターなどの発達の段階や活動内容に合った多様な表現方法が見られるなど、学習活動の質を高められるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 興味・関心を高めるという視点から、巻末シールを用いて、自分の学びを記録して振り返りに活用でき、児童にとって分かりやすいという視点から、五感を使った短い会話文を吹き出しに書くなど、学習活動の質を高める工夫が見られる。</p> <p>(4) 自分や身近な人々等の特徴やよさに気付かせるた</p>	<p>もくじ</p> <p>上 p4</p> <p>上 p28</p> <p>下 p26</p> <p>上 p138 下 p98</p> <p>上 p145 下 p105</p>

	<p>めに、体験活動を中心とした各単元の中で、見学した後の感想を吹き出しにして表すなど、児童の気付きを促すための工夫が見られる。</p> <p>また、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるために、学習方法をいつでも確認できるよう、巻末に「ひろがるせいかつじてん」があり、習慣や技能を身に付ける工夫が見られる。</p> <p>(5) 身近な人々や社会に直接働きかける活動と表現する活動を関連させ思考と表現を一体化させるために、人との関わりや表現物の活用の仕方の例を示すことで具体的なイメージをもって活動できる工夫が見られる。また、「どうすれば」の欄と表現の例を並記することで、思考と表現を結びつけるための工夫が見られる。</p>	<p>下 p71</p> <p>上 p138～143 下 p98～p103</p> <p>下 p31</p> <p>下 p26, 27</p>
61 新興出版社啓林館	<p>(1) 生活科の目標を達成させるために、上巻では日常生活を生かした活動、下巻では他教科につながる地域とふれ合う活動で構成している。また、これまでの体験活動が生かされるようなスタートブックが配置され、その中に教科のマークを付けるなど合科的・関連的な学習活動が展開できる工夫がされている。</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、ダイナミックな写真で児童の意欲を喚起し、児童の思いや願いをつなぐための「めくり言葉」により、児童の意識や活動が連続したり、広がったりするような工夫が見られる。</p> <p>また、生きて働く「知識・技能」を習得させるために、生活上必要な挨拶やマナー等を身に付けるコーナーがあり、巻末には道具の使い方や野菜の育て方等が「がくしゅうずかん」にまとめてあるなど、学び方が身に付くような工夫が見られる。</p> <p>さらに、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」等を育成するために、発達の段階に応じたワークシートの例、多様な表現方法や思考ツール等の具体例が示されるなど、学習活動の質を高められるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 興味・関心を高めるという視点から、気付きのヒントや安全上の留意点をキャラクターで示し、児童にとって分かりやすいという視点から、めあてや本文を教師の投げかけや子どもの思いで示すなど、活動のイメージができる工夫が見られる。</p> <p>(4) 自分や身近な人々等の特徴やよさに気付かせるために、どのページにも身近な人の写真やイラストが吹き出しの会話文とともに掲載され、学びや気付きを促す工夫が見られる。</p> <p>また、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるために、保護者へのメッセージや様々な標識、マークを掲載することで、生活・安全への意識や習慣、技能を高める工夫が見られる。</p>	<p>上下もくじ 上すたあとぶ つ く (p1～16)</p> <p>上p2, 20, 34 上p3, 7 上p73, 77, 79 下p3, 7 上p119 下p109</p> <p>上p16, 25 下p7, 9</p> <p>上下もくじ</p> <p>上p6, 9, 10, 11 下p3～5</p>

	<p>(5) 身近な人々や社会に直接働きかける活動と表現する活動を関連させ思考と表現を一体化させるために、「いきいき」コーナーでの体験で得られた気づきを、「ぐんぐん」コーナーで表現し交流するという、気づきの質を高める配慮がなされている。また、成長や学ぶ楽しさを実感でき、次の活動への意欲をもたせる構成の工夫が見られる。</p>	<p>上 p6, 8, 16 下 p16, 30, 32 上 p16, 32 下 p24, 36</p>
116 日本文教出版	<p>(1) 生活科の目標を達成させるために、上巻では自分の日常と結びつける活動、下巻では地域の「ひと」から学ぶ活動で構成されている。また上巻冒頭に「いちねんせいになったら」、下巻冒頭に「2年生がはじまるよ」が設定され、スムーズに学習が進められる工夫がされている。</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、植物の成長過程の写真を山折りにして比較できるページや友達との関わりを促す「ふりかえるつなげる」コーナーがあり、学びを生かしたり、活動の幅を広げたりするような工夫が見られる。</p> <p>また、生きて働く「知識・技能」を習得させるために、何をどう学ぶのか分かりやすく示したタブがあり、巻末には気持ちの伝え方や用具の使い方を示した「ちえとわざのたからばこ」があるなど、気づきの質を高められるような工夫が見られる。</p> <p>さらに、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」等を育成するために、思考ツールや ICT の活用法を示した板書のイラストや思考の視点に沿って記述されたワークシートの例を示すなど、考え方が身に付くような工夫が見られる。</p> <p>(3) 興味・関心を高めるという視点から「家でやろう」のページを用いて、主体的な学びを促し、児童にとって分かりやすいという視点から、身近な友達との活動のイラストや写真をダイナミックに掲載するなど、気づきにつながる工夫が見られる。</p> <p>(4) 自分や身近な人々等の特徴やよさに気付かせるために、活動やふれ合い、学びの様子を各単元でダイナミックに写真やイラストを掲載し、イメージや気づきを促す工夫が見られる。</p> <p>また、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるために、巻末資料「ちえとわざのたからもの」があり、特に防災安全のページでは自然・交通・人的災害への配慮を提示する工夫が見られる。</p> <p>(5) 身近な人々や社会に直接働きかける活動と表現する活動を関連させ思考と表現を一体化させるために、児童が考え判断し、表現する授業の様子を写真で数多く掲載してイメージしやすくしている。また、活動や振り返りでは、以前との比較や何かに例える活動を通して、気づきの質をより高め、豊かな情操を培う構成の工夫が見られる。</p>	<p>上下もくじ 上 p4～17 下 p4～9</p> <p>上 p40, 42 下 p15, 19</p> <p>上 p20, 21 下 p14, 15 上 p125～ 下 p113～</p> <p>上 p30, 36 下 p9, 13</p> <p>下 p41</p> <p>上 p22～29 上 p34, 35</p> <p>上 p125～ 下 p113～ 下 p124, 125</p> <p>下 p66～77</p>

